

来馬岳 鉱山町コース 山行記録

実施日 令和3年11月28日(日)

メンバー 長沼(CL)、澤田(L)、宇田(SL)、笹山、水江、太田、酒井、竹内、佐藤

7:05 見晴公園、車3台、9名出発

7:20 林道ゲートは閉じており、ゲート前脇の空地に駐車。

7:30 準備も終わり、林道歩きから登山開始。天気は晴・無風、雪が積もっている。

月曜日まで暖かい日が続いていたが、火曜日から急に冬の天気となり、昨日まで道北を中心に11月としては記録的な積雪となっている。

歩き出してすぐ熊の足跡が多数出現した。林道の途中で消えたが、大きな足跡だった。

7:50 登山口に到着。登山ボックスには、この登山道を廃道にしてしまうのはもったいないと考えた【来馬岳鉱山コースを愛する登山愛好家有志】により、草刈りをしたことなどの記述があった。

すっかり荒れ果ててしまった緩い勾配の作業道跡を歩く。

8:30 休憩。体温調整(暑い)。進むと倒木地帯となる。左右倒木だらけの凄い風景が広がっている。

道が狭まるとベツリと雪に濡れた笹が混みだしてきた。合羽着用。ブッシュがひどくなり、ピンクテープを頼りに笹をかき分け、踏み跡を見つけて進む。

9:55 大きな広場に出た。ほっと一息休憩。笹は凄くなり、かつ倒木が道を塞ぐ事が多くなる。

小さな沢を2回渡ると分岐で、来馬岳の標識板が見える。再び笹が混みだしてきた。

少し傾斜も増してきてジグザグ道が続く。笹刈しているところも時折あり、要所にはテープが見える。

右側の沢地形に入り笹をつかみながら登るがどうもおかしい。GPS確認。『道は左方向です』との指摘。斜面をトラバースして正規の道に出る。

下り時に確認すると、以前テープが付いていた木は倒れていた。付けなおす。

11:30 広大な台地の中の道となり、積雪も多くなる。前方に山頂が見える。には、以前強烈な笹ブッシュに覆われ通行不能となっていたが、昨年・今年と刈払され通行可能に、ピンクテープが頻繁に現れて、笹刈の苦労が忍ばれる。笹の切り残し部が雪面から突き出ており、歩きにくい。

11:40 休憩。進むにつれ頂上部が大きく見えてくる。

12:20 この台地の地点でリターンすることに。頂上は近いがまだ30分以上かかるだろう。時間にゆとりをもって下山することとした。5分程度下がって太い倒木の所で昼食。太陽が輝いており、寒くない。

12:50 食事もあり、下山へ。タンタンと下り続けて、標高が下がってくると雪融けが多くなり、グチャグチャ道になってきた。

15:05 登山口に到着。全員で記念写真。

15:20 ゲート前着。

なかなか歩きにくい、歩きごたえたっぷりの雪道登山でした。

皆さん、無事帰還、ご苦労様でした。

